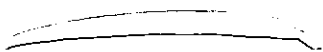


令和2年度 社会福祉法人長寿会事業報告書



令和2年度 長寿会事業概要

【事業運営】

令和2年度は、介護事業所に対して発令される厚生労働省の通知等を確認しながら、新型コロナウイルス感染予防対策に終始した一年となった。4月27日に市内の感染者が初めて確認され、施設の面会、ボランティア、ショートステイ受け入れを一時中止した。以後、市内及び周辺地域の感染発症状況、緊急事態宣言発令の状況に応じ、「施設に持ち込まない」「職員が感染しない」よう対策を見直し、職員及び在宅サービス利用者等に周知徹底し、感染を予防した。日々の健康チェック、消毒、換気等の基本的対策の実行、面会及び施設内外の交流行事や研修・会議の制限・中止により、利用者の生活や業務が、感染予防最優先に様変わりし、閉塞感を訴える施設利用者もあった。職員には「三密」を避ける行動自粛も要請し、ストレスの多い1年であった。

コロナ感染症にかかる国の施策により、職員への慰労金支給、環境整備の補助金で、消毒薬等の消耗品他、リモート用パソコン、センサーベッド、空気清浄機等購入できた。

理事会、定時評議員会は、感染対策に留意して予定通りに実施した。

重点目標「利用者を増やす」ことについては、コロナ禍において、感染予防に注意し、施設の新規入所者31人を受け入れたが、退所者数(33人)が上回り、前年より若干入所率が高かったが、目標に達していない。デイサービスも前年と同様の稼働率であった。

「人材育成」については、リーダー研修を重点にした。介護労働安定センターの人材育成アドバイザーを依頼し、委員会がアドバイスと講義を受けた。また施設介護リーダーは、マナビタの動画研修を各自視聴した。次年度に継続する。個々の目標設定シートと上司面談を計画したが、特に施設介護部門は、面談時間が取れず、実行できていない。目的を再確認して方法の見直しを行う。

「情報発信」については、コロナ禍にあり、施設は家族面会を制限していたので、「長寿園だより」を毎月発行し、利用者の様子、生活の様子を知らせた。デイサービスも、毎月の「明寿香園だより」を発行するとともに、パンフレットを作成し、施設紹介に活用した。ホームページは、施設改修後の設備やサービス紹介を更新し、コロナ感染対策の紹介を掲載した。

【決算の概要】

令和2年度、法人全体のサービス活動収益は353,470,788円で、前年度比5,939,938円の増であった。サービス活動費用は383,125,804円(前年度400,934,892円)で、当期活動増減差額は、△28,674,416円(前年度△54,843,396円)となった。

次年度繰越活動増減差額は、403,120,618円(前年度433,526,034円)となった。令和2年度社会福祉充実残高(内部留保)に該当する金額はない。

令和2年度 社会福祉法人長寿会事業報告書

1 法人の概要

主たる事務所の所在地	山口県山陽小野田市大字小野田 11324 番地 10
代表者（理事長）の氏名	長 澤 孝 明
法人の認可年月日及び番号	昭和52年9月28日 厚生省社第803号
設立登記年月日	昭和52年10月13日

2 法人の事業の内容

(令和3年3月31日)

事業の種類	施設の種 類	事業開始年月日	定 員	職 員 数
第 一 種 社会福祉事業	特別養護老人ホーム長寿園	昭和 53 年 4 月 1 日	82 人	59 (14) 人 (医師 1 含む)
第 二 種 社会福祉事業	老人短期入所事業 老人デイサービスセンター 老人居宅介護等事業 老人介護支援センター	昭和 55 年 4 月 1 日 昭和 59 年 12 月 1 日 平成 2 年 1 月 1 日 平成 3 年 1 月 1 日	8 人 30 人	10(1) 人
公益事業	居宅介護支援事業 地域包括支援センター事業 介護予防・日常生活支援総合事業	(認可年月日) 平成 27 年 12 月 11 日 平成 27 年 12 月 11 日 平成 29 年 4 月 1 日		3 人 1 人
収益事業	なし			
				() 書きは非常勤職員の再掲 72 (15) 人

介護保険事業者指定の内容

事業の区分	事業の種類	定員	初回指定年月日	指定の更新年月日
指定居宅介護支援事業	居宅介護支援		平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
指定居宅サービス事業	通所介護	30 人	平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
	介護予防通所介護		平成 18 年 4 月 1 日	総合事業へ
	短期入所生活介護	8 人	平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
	介護予防短期入所生活介護		平成 18 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
指定介護保険施設	介護老人福祉施設	82 人	平成 12 年 4 月 1 日	令和 2 年 4 月 1 日
指定山陽小野田市総合事業	予防給付型通所介護相当サービス		平成 30 年 4 月 1 日	—
	生活維持型	5 人	平成 29 年 4 月 1 日	令和 2 年 12 月 31 日 廃止

委託事業等の状況

委託者	事業名
山陽小野田市	施設入浴サービス事業 緊急時短期入所サービス事業 地域包括支援サブセンター運営事業 要介護認定調査事業 介護予防支援業務
宇部市	予防給付ケアマネジメント
社会福祉法人純心聖母会	外部サービス利用型特定施設入所者生活介護における居宅介護サービス（指定通所介護）

3 定款変更の状況

審議日程	申請年月日	認可年月日	変更内容
なし			

4 役員の状況

(年度末 順不同)

	役職名	氏名	年齢	当初就任年月日	現就任年月日	任期
1	理事長	長澤孝明	71	平成20年4月1日	令和元年6月19日	令和3年度の定時評議員会の終結の時まで
2	理事	長澤延明	87	令和元年6月19日	令和元年6月19日	
3	"	西野 彰	80	平成14年4月1日	令和元年6月19日	
4	"	白石千代	71	令和元年6月19日	令和元年6月19日	
5	"	平原廉清	79	平成26年4月1日	令和元年6月19日	
6	業務執行理事	上村篤子	65	平成24年4月1日	令和元年6月19日	
計		6人				
1	監事	田村嘉輝	69	平成24年4月1日	令和元年6月19日	令和3年度の定時評議員会の終結の時まで
2	"	田所 栄	67	平成29年6月22日	令和元年6月19日	
計		2人				
1	評議員	秋本和美	69	平成20年4月1日	平成29年4月1日	令和3年度の定時評議員会の終結の時まで
2	"	小林伸夫	77	平成20年4月1日	平成29年4月1日	
3	"	原田美代子	73	平成20年4月1日	平成29年4月1日	
4	"	長尾純子	71	平成22年4月1日	平成29年4月1日	
5	"	中島嘉哉	63	平成22年4月1日	平成29年4月1日	
6	"	沖中幸人	71	平成26年4月1日	平成29年4月1日	
7	"	為近美代子	71	平成26年4月1日	平成29年4月1日	
8	"	山本成美	69	平成26年4月1日	平成29年4月1日	
計		8人				

5 会議の開催状況

開催年月日	出席者	欠席者	議 題
2.6.3 理事会	理事 6 人 監事 2 人	0 人 0 人	議案第 1 号 社会福祉法人長寿会給与規程の一部改正について 議案第 2 号 令和元年度長寿会(本部)事業報告について 議案第 3 号 令和元年度長寿会 (本部) 決算報告について 議案第 4 号 令和元年度長寿園 (施設) 事業報告について 議案第 5 号 令和元年度長寿園 (施設) 決算報告について 議案第 6 号 令和元年度明寿香園 (デイサービス) 事業報告につ いて 議案第 7 号 令和元年度明寿香園 (デイサービス) 決算報告につ いて 議案第 8 号 令和元年度ホームヘルプ (訪問介護) 事業報告につ いて 議案第 9 号 令和元年度ホームヘルプ (訪問介護) 決算報告につ いて 議案第 10 号 令和元年度居宅介護支援事業報告について 議案第 11 号 令和元年度在宅介護支援センター事業報告につい て 議案第 12 号 令和元年度在宅介護支援センター会計 (居宅介護支 援事業含む) 決算報告について その他

<p>2.6.24 定時評議員 会</p>	<p>評議員 8人 監事2人</p>	<p>0人 0人</p>	<p>議案第1号 令和元年度長寿会（本部）事業報告について 議案第2号 令和元年度長寿会（本部）決算報告について 議案第3号 令和元年度長寿園（施設）事業報告について 議案第4号 令和元年度長寿園（施設）決算報告について 議案第5号 令和元年度明寿香園（デイサービス）事業報告につ いて 議案第6号 令和元年度明寿香園（デイサービス）決算報告につ いて 議案第7号 令和元年度ホームヘルプ（訪問介護）事業報告につ いて 議案第8号 令和元年度ホームヘルプ（訪問介護）決算報告につ いて 議案第6号 令和元年度居宅介護支援事業報告について 議案第10号 令和元年度在宅介護支援センター事業報告につい て 議案第11号 令和元年度在宅介護支援センター会計（居宅介護支 援事業含む）決算報告について</p> <p>その他</p>
<p>2.11.25 理事会</p>	<p>理事6人 監事2人</p>	<p>0人 0人</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人長寿会就業規則の一部改正について 議案第2号 令和2年度特別養護老人ホーム長寿園会計第1回補 正予算について 議案第3号 令和2年度デイサービス施設明寿香園会計第1回 補正予算について</p> <p>その他 令和2年度上半期事業報告</p>

<p>3.3.24 理事会</p>	<p>理事6人 監事2人</p>	<p>0人 0人</p>	<p>議案第1号 社会福祉法人長寿会給与規程の一部改正について 議案第2号 特別養護老人ホーム長寿園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について 議案第3号 特別養護老人ホーム長寿園短期入所生活介護運営規程の一部改正について 議案第4号 特別養護老人ホーム長寿園介護予防短期入所生活介護運営規程の一部改正について 議案第5号 デイサービス施設明寿香園通所介護運営規程の一部改正について 議案第6号 デイサービス施設明寿香園山陽小野田市介護予防・日常生活支援総合事業予防給付型(通所介護相当サービス)運営規程の一部改正について 議案第7号 令和3年度長寿会(本部)事業計画について 議案第8号 令和3年度長寿会(本部)会計資金収支予算について 議案第9号 令和3年度長寿園(施設)事業計画について 議案第10号 令和3年度長寿園(施設)会計資金収支予算について 議案第11号 令和3年度明寿香園(デイサービス)事業計画について 議案第12号 令和3年度明寿香園(デイサービス)会計資金収支予算について 議案第13号 令和3年度居宅介護支援事業計画について 議案第14号 令和3年度在宅介護支援センター事業計画について 議案第15号 令和3年度在宅介護支援センター(居宅介護支援事業を含む)会計資金収支予算について 議案第16号 令和3年度社会福祉法人長寿会定時評議員会の開催について その他 令和2年度社会福祉法人長寿会決算見込み</p>
-----------------------	----------------------	------------------	---

6 監事監査の状況

監査年月日	監事氏名	指 摘 事 項	改 善 状 況
2.5.25	田村嘉輝 田所 栄	特になし	

7 行政実地指導の状況

監査年月日	指 摘 事 項	改 善 状 況
	なし	

8 登記の状況

登記事項	登記年月日	内 容
1 資産総額の変更	令和2年6月26日	資産額 6億6,501万58円

"	3.4.1. (一部 3.8.1 適用)	特別養護老人ホーム長 寿園短期入所生活介護 運営規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 介護支援専門員 1人 介護職員 31人 ②利用料の変更 食費 昼食 560円
"	3.4.1 (一部 3.8.1 適用)	特別養護老人ホーム長 寿園介護予防短期入所 生活介護運営規程の一 部改正	(改正内容) ①職員数の変更 介護支援専門員 1人 介護職員 31人 2 利用料の変更 食費 昼食 560円
"	3.4.1 (一部 3.8.1 適用)	デイサービス施設明寿 香園通所介護事業運営 規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 介護職員 7人 ②利用定員の変更 30人 ③利用料等の変更 560円
"	3.4.1 (一部 3.8.1 適用)	デイサービス施設明寿 香園山陽小野田市介護 予防・日常生活支援総 合事業予防給付型（通 所介護相当サービス） 運営規程の一部改正	(改正内容) ①職員数の変更 介護職員 7人 ②利用定員の変更 30人 ③利用料等の変更 食費 560円

10 資産（土地・建物）の状況

別紙1のとおり

11 借入金の状況

借入額	借入年月日	年度末借入残額
50,000,000 円	平成 31 年 4 月 1 日	39,992,000 円

12 法人による利用者負担額減免の状況

事業の区分	対象者数（人）	減免額（円）
介護老人福祉施設	2	207,853
短期入所生活介護	0	0
通所介護	0	0
訪問介護	0	0
合計	2	207,853

13 寄附金の状況

会計区分	件数	金額（円）	備考
長寿会（本部）	11	1,510,000 円	理事長 1,200,000 円 その他 310,000 円

1.4 苦情対応の状況

事業の種類	件数		事業所内 解決件数	備 考
	2年度	元年度		
介護老人福祉施設	1	3	1	説明がない 返事が欲しい
短期入所生活介護	0	3	0	
通所介護	0	2	0	
訪問介護		4	0	
支援センター／居宅介護	0	1	0	
合 計	1	13	1	

○苦情解決委員会 令和2年7月13日(月)開催

1.5 事故の状況

事業の種類	2年度		元年度 件数	備 考
	件数	保険適用		
介護老人福祉施設	12	入院2	5	骨折2 転落後負傷 10
短期入所生活介護	2	0	2	転落後負傷 2
通所介護	1	0	6	転倒しりもち 1
訪問介護			0	
支援センター／居宅介護	0	0	0	
合 計	15	2	13	

※医療機関に受診又は入院した件数

1.6 虐待防止・身体拘束廃止の取り組み

虐待防止委員会の開催	8・10・1月	虐待案件の検討 指針の改正 チェックリストの見直し
虐待の芽チェックの実施	9・12・3月末 3回	3ヶ月に1回
第三者委員の巡回	実施なし	コロナ感染予防のため
施設内研修	施設 11月 デイ 2・3月	

1.7 人材確保・人材育成

○職員の採用状況

職種	人数	年月日	紹介元
生活相談員	1	R2.5.1	ハローワーク
施設介護職員	1	R2.5.1	ハローワーク
パート調理員	1	R2.7.27	ハローワーク (R2.9.25 退職)
臨時介護職員	1	R2.12.1	ハローワーク (R2.12.3 退職)
施設介護職員	1	R3.1.25	ハローワーク
施設パート介護職員	1	R3.2.1	職員

参考

施設介護職員 (うち障害者雇用1名)	2	R3.4.1	ハローワーク
デイ看護職兼機能訓練指導員 兼介護職員	1	R3.4.1	職員

○人材育成委員会 4/1 6/4 8/5 9/2 10/7 12/2 2/3 開催

今年度重点取り組み・目標の検討について

実施状況評価・次年度計画について

介護労働安定センターアドバイザー廣瀬春美氏による講義とアドバイス

12/2 リーダーとしての心構えと他職種協働の実践

2/3 現場の組織力を高める最新リーダーシップ論

資産（土地・建物）の状況

令和3年3月31日現在

基本財産	所在地（地番、家屋番号）	地目、用途及び構造	面積 (㎡)	担保提供 の有無	備考
土地	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 10	宅地 長寿園敷地	6,497.95	無	平成 23 年 6 月中川氏から購入。登記済
	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 16	"	490.95	"	"
	山陽小野田市大字小野田字三番溜井 6111 番 34	宅地 明寿香園敷地	1,193.56	"	平成 29 年 2 月山陽小野田市から購入。登記済
	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11337 番 3	山林 長寿園敷地	5.71	"	"
	4 筆		8,188.17		
建物	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 10 (長寿園)	鉄筋コンクリート造陸 屋根平屋建 鉄骨造鋼板葺平屋建	1,701.41	無	昭和 53 年 3 月 17 日新築 平成 30 年 8 月 15 日増築 (ホール 170.61㎡)
	山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 11324 番 10 (長寿園)	鉄筋コンクリート造陸 屋根平屋建 鉄骨造鋼板葺平屋建	1,029.20	無	昭和 57 年 3 月 5 日新築 平成 4 年 12 月 21 日増築 (ショートステイ棟 178.15 ㎡) 平成 30 年 8 月 30 日増築 (個室特浴等 236.21㎡)
	山陽小野田市大字小野田字三番溜井 6111 番 34 (明寿香園)	鉄筋コンクリート・鉄骨 ルーフィング葺平屋建	508.20	無	昭和 59 年 11 月 7 日新築 明寿香園 411.80㎡ 平成 2 年 12 月 3 日増築支援 センター96.4㎡ (16㎡を平成 31 年 4 月 1 日ヘルパー事務室に転用)
			3,238.81	長寿園 2,730.61㎡ 在宅計 508.2㎡	

借地

令和3年3月31日現在

所在地	地目及び用途	面積 (㎡)	土地借用に係る契約・利用権の状況			
			契約年月日	相手先	利用権 登記	借地料 年額 (円)
山陽小野田市大字小野田字西ヶ迫 1321 番 10	宅地 職員駐車場	525.00	H28.11.20	山陽小野田市	無	265,062
山陽小野田市大字小野田字平迫 1321 番 5	宅地 } 宅地 } 宅地 } 職員駐車場	586.75	H25.11.20	大下明美	無	} 50万円
" 1322 番 10		2.72	"	"	無	
山陽小野田市大字小野田字三番溜井 6111 番 19		77.49	"	"	無	
		1,191.96				766,805



令和2年度 特別養護老人ホーム長寿園事業報告書



令和2年度特別養護老人ホーム長寿園事業報告書

令和2年度は、コロナウイルス対策に終始した一年だった。感染状況に応じた対策を、臨時の会議や運営会議において協議検討し、『施設に持ち込まない』『媒介者にならない』『蔓延させない』よう、職員に徹底した。面会制限や、ショートステイの一時受入れ中止した時期もあったが、家族、利用者、ケアマネへの連絡説明を速やかに行い、理解を得た。一方、施設内消毒、面会者・来園者の検温等の対応、面会時の利用者対応、マスク・消毒液などの物品の確保等に奔走した。人の集まる行事は中止し、職員の会議、研修などは感染状況に応じて書面で行った。家族には、1ヶ月に1回、利用者の近況や、生活の様子を掲載した「長寿園便り」を送付した。

基本的な感染症予防対策の徹底により、コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスの感染症は発症していない。

重点目標にあげた「入所者を増やす」については、入所者をコンスタントに入れたが、退園者数のほうが上回り、入所者を増やす事ができなかった。

実績目標である「施設月平均70人 入所率85.4%」は、目標を下回った。実績は、1日平均61.3人、入所率は74.7%と、昨年度に比べ若干増加したが、目標数には至らなかった。新入園は、退院勧告等行き場所のない人を優先的に対応した。特例入所は1人受け入れた。

「ショート月平均5人」は、感染症対策による受け入れ中止期間が1か月半程度あったが、目標を達成することができた。実績は、1日平均5.4人(元年度8.0人)、利用率は68.6%(元年度101%)であった。施設の空床を利用し、ケアマネージャーからの希望にできるだけ沿うようにして、積極的に受け入れた。

「職員間の情報共有を徹底する」は、連絡帳を活用するなど、情報共有について意識して取り組んだが、他部署間・口頭伝達による情報共有の難しさが浮き彫りとなった。

「生活時間の見直しとそれに伴う業務の見直し検討を行う」は、有志職員による業務改善会議を中心に、職員の聞き取りやどの業務に負担を感じるのか等を把握し、業務の見直しを図った。

「適切な機器導入を検討する」は、転倒リスクのある利用者の動きをキャッチできるよう、離床センサー付きベッドを5台、赤外線センサーを1台購入した。記録の電子化については、検討ができていない。

1 施設の概要

名称	特別養護老人ホーム 長寿園
住所	山陽小野田市大字小野田 1 1 3 2 4 番地 1 0
事業開始	昭和 5 3 年 4 月 1 日
サービス種類	<p>特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設Ⅱ多床室) 7 4 人 (介護老人福祉施設従来型個室) 8 人</p> <p>夜間職員配置 あり サービス提供体制強化 あり 個別機能訓練 あり 看護体制 I・II あり 配置医師緊急時対応 あり 口腔機能維持管理体制 あり 若年性認知症入所者受入 あり 身体拘束廃止取組 あり 看取り介護体制 あり 介護職員処遇改善 あり</p> <p>ショートステイ 8 人 (併設型短期入所生活介護Ⅱ多床室) (併設型介護予防短期入所生活介護Ⅱ多床室)</p> <p>夜間職員配置 あり 機能訓練指導體制 あり 送迎体制 対応可 サービス提供体制強化 あり 介護職員処遇改善 あり</p>
委託事業	<p>施設入浴サービス (山陽小野田市)</p> <p>緊急時短期入所サービス (山陽小野田市)</p>
建物	<p>鉄筋コンクリート平屋建 2, 7 3 0. 6 1 m²</p> <p>居室 4 人部屋: 1 9 室 2 人部屋: 3 室 1 人部屋: 8 室 食堂 4 訓練室 浴室 (特浴 リフト付き個浴 4) デイルーム ホール</p>

2 サービス提供体制（職員配置）

新規採用は、6人（介護4人 相談員1人 調理1人）、事務退職者の再雇用が1人あった。退職は10人（介護7人 相談1人、調理1人 事務1人）であった。

年度中に採用した職員2人（介護1、調理1）が、早期退職し、採用面接・新人教育・職員定着の難しさを痛感した。夜勤のできる介護職員2人の退職に対し、施設介護経験者を2人常勤採用し、1人は夜勤に入っている。

介護職の勤務は、日勤帯がパート職員のみとなる場合も多かった。土日祝日は、少ない人数で勤務に当たる日もあり、介護職員の残業が多かった。

負傷等による1ヶ月以上の休職はなかった。調理員が1人育児休暇中である。

令和2年度末職員人数（人）

園長1 事務長1 事務主任1 事務員2（パート1）
主任相談員1（介護支援専門員兼務）生活相談員1 機能訓練指導員1
医師1（非常勤1） 看護主任1 看護職員3
介護主任1 総リーダー1 ユニットリーダー4 介護職員26（パート5）
栄養士（給食主任）1 調理員8（パート4）（常勤1人育休中）
清掃員1（パート1） 洗濯員2 夜間警備員2（非常勤2）
計59人（パート非常勤14）（）内書は再掲

看護・介護職員と利用者の割合（令和2年度年間集計）

	常勤	延在籍	非常勤		計	看護介護 職員合計	看護介護職員 利用者の割合
	人	常勤換算	人	常勤換算			
介護職員	27	25.8	7	3.5	29.3	33.3	2.1 : 1
看護職員	4	4.0	0	0	4.0		
年度 利用実績	施設	22,378人		$\frac{24,383人}{365日}$	= 66.80人		
	短期	2,005人					

3 サービスの実施状況

(1) 利用実績

① 施設入所

延利用者数は22,378人(元年度21,556人)、入所率74.7%(元年度71.8%)であった。

新入所者31人のうち、在宅からの入所は13人で、当園のショートステイを利用したことのある利用者は8人だった。医療機関の退院勧告者や、他市・他県からの入所も、感染予防対策を講じ、柔軟に受け入れた。

退所者は33人(元年度30人)で、死亡退園者は25人、病院入院・加療継続8人で、要介護度の改善による退所はなかった。

入院は20人(元年度21人)で、延べ594日間(元年度367日)。入院中に退院できない場合多く、身元引受人の了解を得て、できるだけ速やかに退園手続きを行った。

入所者の平均介護度は、3.61(元年度3.71)、新入所者の平均介護度は3.58(元年度3.70)、退所者平均介護度は3.76(元年度3.87)であった。

別表1 施設利用状況

別表2 入退園者の状況

② 短期入所(ショートステイ)

延べ利用者数は2,005人(元年度2,958人)、1日平均5.4人。利用率は、68.6%(元年度101.0%)。市内でコロナ感染者が発生した際、受け入れを中止した時期が1か月程度あり、前年度に比べ減少したが、目標の平均利用人数は達成した。平均介護度は2.41(元年度2.24)であった。

別表3 ショートステイ利用状況

③ 入浴サービス(山陽小野田市委託事業)

年間実人数1人(元年度1人)、延べ15回(元年度20回)実施した。市内にコロナウイルス感染者が出た時期に、利用を一時中止した。

別表4 入浴サービス利用状況

(2) サービス内容

【介護】

①利用者とのかかわり

担当部屋利用者を中心に、積極的にかかわる時間を作り、思い出作りに努めた。

利用者とのかかわりの中で得た情報を、ユニット内で共有することで、日頃のケアに活かす事ができた。しかし、口頭連絡等が十分に記録されていない為に、ユニット内の情報共有ができていないこともあり、今後の課題となっている。

②家族とのかかわり

コロナ禍による面会制限により、家族とのコミュニケーションが減少した。必要時には家族に電話連絡や、ビデオ通話を行い、近況報告を行った。

③接遇

あいさつ、身だしなみ、言葉遣い、立ち居振る舞いを常に意識し、丁寧な対応を心掛けたが、不十分な点もあり、利用者を不快な思いにさせることがあった。引き続き、意識的に取り組んでいきたい。

④認知症ケア

認知症を患う利用者が、穏やかに、生き生きとした生活が送れるよう、やさしく、適切な声掛けや関わりに努めた。しかし、ケアの中で、感情的になってしまうこともあり、対応に苦慮することがあった。必要時には、ユニット内で対応方法を検討し、統一したケアが行えるよう心掛けた。利用者の繰り返す言動や、複数の利用者を限られた人員で対応することに、ストレスを感じる職員も増えている為、職員のストレス対策にも早急に取り組むたい。

⑤看取りケア

面会制限の中、看取りケア対象の利用者は、面会をホールで行った。ユニットからベッドのまま移動する際は、ユニット職員が対応し、家族へ近況を伝えることで、利用者家族に、寄り添うケアの実施に努めた。

⑥業務改善

ケアの質を高めること、業務効率を意識し、業務の見直しを行った。適宜、諸行員の意見を取りまとめながら、マニュアルの見直し等を行った。

⑦食事

個々の状態に応じた、食事形態、自助具を検討し、楽しく安全に食事摂取ができるよう努めた。特に、食事姿勢に注意し、座位姿勢が保てるように、離床介助をしたり、クッションを用いて、リクライニングの角度に配慮を行った。また、呑み込みの確認を行い、利用者のペースに合わせた介助を行った。

⑧入浴

快適に、安全に入浴できるよう、個々の身体状態に応じた浴槽、入浴方法を用いた。浴槽内の姿勢、特浴ストレッチャー上でのバランス維持ができない利用者もあ

た。浴槽内の姿勢、特浴ストレッチャー上でのバランス維持ができない利用者もあり、バスタオル等を用いて、安全に入浴ができるように努めた。また全身状態を把握する機会となり、内出血やけがを発見することができた。

⑨排泄

声掛けに十分配慮し、自尊心を尊重したケアを行った。また、排泄の機能・パターンを把握し、適切なタイミングでの介助に努めた。利用者の状態により、スキンケアの方法や、排泄介助の方法、頻度の見直しや変更を随時行った。

⑩暮らし

起床から就寝まで、個々の生活リズムや、健康、心身状態に応じたケアに努めた。

敬老の日とクリスマスの時期に、ユニット内でレクリエーションを企画し、利用者を楽しんでもらった。

⑪環境

ユニット内に季節感を感じる事ができるような壁紙などを作成し、楽しい生活環境を整えた。

日常清掃、介護機器等の点検を行い、清潔で安全な生活環境を整えるよう努めたが、居室棚や車椅子の掃除等が不十分だった。

⑫口腔ケア

訪問歯科医の指導を受け、個々に応じた口腔ケアを行った。また、必要に応じて、受診につなぎ、早期発見・早期治療を行うことで、口腔内の健康保持に努めた。

⑬身体拘束

多動で事故につながるリスクがある利用者（94歳女性 要介護4）に対し、離床時の拘束、ベッド4本柵を5ヶ月間必要時に行った。看取りケアに移行し終了した。

【給食】

① 栄養管理

セントラルキッチン方式による給食提供を年間通して行い、摂取エネルギーや、たんぱく質等、問題なく目標を達成できた。

利用者個々に合わせた栄養ケアが行えるよう、栄養ケアプランを作成し、実施した。その際、摂取量の少ない利用者には、個々に合わせた栄養補助食品を、他部署と連携して提供した。栄養補助食品を提供する利用者が増えている。

② 調理

見た目良く、安全に、利用者に合わせた食事形態で、食事を提供した。7月にはアイスクリームを選択して食べて頂き、喜ばれた。

③ 災害時対策

食中毒・災害時に関するマニュアルに基づき、非常時に適切に対応できるようにした。

④ その他

保健所による集団給食施設の一斉点検を受け、特に問題はなかった。

別表5 年間給食実施状況

【看護】

令和2年度は、コロナウイルス対策に追われた。最新情報の収集から、マスクなどの清潔物品の管理などを行った。

①健康管理

健康診断を年1回、定期的実施した。診断結果は、文書にて家族へ送付した。新規入所者には、入所時長沢病院を受診してもらい、胸写と嘱託医との面談（家族を含め）を行うことで、速やかな健康状態の把握、家族の意向を医師が知る事ができるようにした。

②医療的ケア

胃ろう対象者は、年度末0人（元年度1人）、痰吸引対象者は、無かった（元年度無し）。

③看取りケア

他職種協働のもと、看取りケアを行った。退所者33人のうち、25人が死亡退所（うち看取りケア16人）、8人が入院加療による退所であった。

入所時から体調が不安定な利用者が増えており、医療機関で入院治療を受ける利用者が増えている。

④感染症対策

今年度はコロナウイルス対策をおもに行った。冬季はノロウイルスやインフルエンザ対策を例年通りに行った。コロナ、ノロ、インフルエンザの感染症は発症していない。職員の罹患もなかった。

⑤褥瘡予防

利用者の重度化に伴い、体圧分散寝具の使用例が増えている。必要に応じて、マットやクッションを使用した。褥瘡の発生は9件（元年度11件）。そのほとんどが、入所前から既に、発症していたケースであった。

⑥業務改善

10月からレントゲン検査以外は、外注(BML)に変更となり、指示受けや検体採取、提出など検査の作業手順が大きく変わり、園での作業手順を見直し、変更している。

別表6 受診・入院の状況

【介護支援専門員】

① ケアプラン

要介護認定時期に合わせて、6ヶ月ごとに定期的に行った。ターミナル（看取り）プランについては、家族面会時に説明、同意を得るようにした。新規入所者に対しては、「当面のケアプラン」を作成し、入所当日の面談時に、家族にケア方針を示した。

【相談員】

5月に新人を採用し、相談業務を実践教育した。2人の相談員で、相談、連絡、調整を行い、出来る限り利用者家族、ケアマネからの要望に対応した。

①相談援助

利用者及び家族からの問い合わせや相談、代行手続きの適切な対応に努めた。

②家族との関係

年間を通じて面会制限を行ったため、家族からの面会の電話予約や問い合わせ、相談室への利用者の送迎、家族からの差し入れや希望をユニット職員に伝える等の対応に追われた。面会は、848人(元年度4,474人)と大幅に減少したが、面会者の検温、部屋の換気、消毒など、感染予防の対策に時間を要した。

家族談話会を11月に実施し、19家族25人の参加があった（元年度20家族25人）。事故発生状況と対策を説明し、参加家族から理解を得られた。

毎月定期的に、事務文書や連絡文書、本人宛の文書等を送付した。「長寿園便り」には、利用者個々の顔写真や、活動の様子、園の生活の一コマなどを写真とともに掲載し、施設生活の様子を知らせた。

外出は、受診や葬儀などを除き、全て禁止とした。外泊も同様に禁止とした。

③ショートステイ

感染症対策により、受け入れを中止せざるを得ない時期もあったが、施設利用者の空床を利用し、早朝対応や日曜日利用も、相談員が出勤を調整し、できるだけ柔軟に受け入れるようにした。荷物の管理や薬の確認等にかかなりの時間を要した。

④ボランティア受け入れ

感染症対策に基づき、柔軟に受け入れを行った。

受け入れ中止期間は、4月1日～5月31日、7月23日～9月23日、1月20日～年度末は継続中である。

受け入れ中止中の洗濯物たたみは、利用者有志、事務・相談・OTができる範囲で行ったが、全て対応できておらず、利用者への返却が遅れている。

⑤交流行事

長寿祭等、家族や地域との交流行事は中止した。敬老会は、最高齢、米寿等の利用者を、ホールで職員がお祝いした。またユニットごとに敬老会とクリスマスの行事を行った。10月には、ホールで秋祭りを実施し、輪投げ、的撃ちなどのゲームを楽しまれた。外出行事も行わなかった。

⑥施設入浴サービス

新たなサービス希望者はなく、女性1人を受け入れた。

別表 7 面会状況

別表 8 ボランティアの来園状況

【事務】

長寿園の窓口として、親切・丁寧・迅速な接客と電話対応に努めた。年度途中の退職があり、業務の引継ぎ等に追われた。

利用者面会の対応（送迎、検温ほか）、洗濯物たたみ等、新たな業務が増えた。

【主任者会】

①サービス推進

月1回開催し、園全体の状況把握と共通認識、協議検討を行った。

②職員の研修計画

i 施設外研修

感染症対策により、例年通りの受講が難しかった。WEB研修の案内が増えた。

ii 施設内研修

主任者会が年間計画に沿って、必要な内容を検討し、計画・実施した。

感染症対策中の研修については、資料を配布し、書面での研修を行った。

iii 新任研修

新任職員は介護4人、調理1人、相談員1人であった。うち介護1人、調理1人は採用後早い時期に退職したため、新任研修ができなかった。

研修計画は、事前に作成し、机上研修と現場OJTで教育を行った。講師（職員）の都合上、すぐに実施できない講義もあったが、できるだけ早く受講できるようにスケジュールを調整した。

③実習・施設見学受け入れ

今年度は、コロナウイルスの件もあり、受け入れを中止した。

◎施設外研修の参加状況

日にち	研修名	参加職種 (人数)
7/9	労働セミナー（事例から考える就業規則の在り方）	事務長
9/11	新型コロナウイルス感染症対応研修	看護（1）
9/18	雇用管理責任者講習（労働時間管理の基本と働き方改革の取組み方）	事務長
9/24	山口県労働セミナー（ハラスメントは怖くない！）	事務長
10/9	雇用管理責任者講習（介護労働者の賃金管理①）	事務長
11/9	感染症対策（実践編）	看護（1）
11/13	雇用管理責任者講習（介護労働者の賃金管理②）	事務長
11/26	県労働局 改正法説明会	事務長
12/9	認知症ケアを考える その時どうする!!	相談（1） 看護（1）
12/10	雇用管理責任者講習（介護労働者の人事管理）	事務長
2/17	虐待・身体拘束の廃止	相談（1） 看護（1）
2/22	介護労働安定セミナー（施設管理）	施設長

別表9 施設内研修の実施状況

別表10 新人職員研修の実施状況

【委員会】

① 人材育成プロジェクト委員会

「目標設定シート」の様式や活用方法の見直し、アンケートの集計等を行った。

② 看取りケア委員会

毎月委員会を開催し、看取りの過程（ステージ）にある利用者を把握した。

③ 医療的ケア委員会

開催していない。医療依存度の高い利用者や新入園者の受入れについて、その都度医師・看護師と相談して進めた。

④ 認知症ケア委員会

介護リーダー会主導で、研修を開催し、職員への意識付けを図った。

⑤ その他の委員会

年度当初に活動内容を把握し、年度途中で振り返りを行いながら、業務の検討協議等を行った。

別表 1 1 職員会議の実施状況

別表 1 2 委員会の活動状況

4 安全・防災対策・環境衛生の状況

日常業務の中で、手洗い、清掃、器具の衛生的な取り扱い等を徹底した。換気は一年を通して園内放送で呼びかけを行い、実施した。寝具の日光消毒は定期的に行った。

防災訓練及び業者委託の点検・消毒は、下記のとおり実施した。

防災 訓練	夜間想定消防訓練	4月22日	1回
	地震想定防災訓練	9月16日	1回
	消防設備の説明(消火器・消火栓の取扱)	4月22日 9月16日	2回
新任職員対象 消火設備の取り扱い等の研修		上記実施時	

設備 点検	消防設備の点検	2回	藤中ポンプ店
	電気設備の点検	7回	中国電気保安協会

害虫駆除	調理室ゴキブリ駆除	12回	山口県薬
	園内ゴキブリ駆除	2回	山口県薬 4・10月
	建物周囲害虫駆除	1回	山口県薬 5月
	園内床磨き	1回	白清社 10月

5 入所申込者の状況

入所検討委員会は7月と2月に開催し、検討結果を速やかに申込者に通知した。新規申込みは、年間を通じてあり、施設見学はタブレットの写真を見ながら説明し、施設の理解を深めてもらった。

退院勧告や退院期限間近な申込者が多かった場合が多く、順位に関係なく、優先的に入所につなげるようにした。感染症対策の為、面会制限を行っている関係機関も多く、本人に会えないままの入所も数件あった。

特例入所は2件あった。

委員会開催日	既申込者	新申込者	検討者 (入所待機)	備考
令和2年7月30日	26人	29人	24人	死亡取消等31人
令和3年2月10日	25人	21人	16人	死亡取消等30人

6 利用者の状況 (令和3年3月31日現在 61人)

別表13 年齢別状況

別表14 在園期間の状況

別表15 認知症の状況

別表16 日常生活動作の状況

施設利用状況

令和2年度

定員	令和2年度												構成比		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		合計	定員延人数
定員	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	28	31	365	29,930
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	17	30	28	28	31	168	0.8%
介護2	120	124	100	93	93	90	93	90	93	90	112	124	776	1,256	5.6%
介護3	818	931	778	773	712	770	772	766	806	760	705	776	9,367	7,876	41.9%
介護4	616	628	578	643	719	669	699	637	698	701	605	683	7,876	7,876	35.2%
介護5	330	341	330	356	384	388	349	295	311	220	181	225	3,710	3,710	16.6%
延人数合計	1,884	2,024	1,786	1,865	1,908	1,917	1,930	1,818	1,939	1,836	1,631	1,839	22,377	22,377	100%
1日平均人数	62.8	65.2	59.5	60.1	61.5	63.9	62.2	60.6	62.5	59.2	58.2	59.3	61.3	61.3	
入所率(%)	76.5	79.6	72.6	73.3	75.0	77.9	75.9	73.9	76.2	72.2	71.0	72.3	74.7	74.7	
入院人数	1	1	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6
日数	5	2	51	42	45	17	81	102	20	105	106	29	605	605	
内加算対象日数	5	2	27	18	6	14	20	0	1	41	12	29	175	175	
内加算無日数	0	0	24	24	39	3	61	102	19	64	94	0	430	430	
外泊人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所人数	3	2	3	4	4	2	4	2	1	2	0	3	30	30	
初期加算日数	41	35	60	115	104	49	53	66	58	33	27	25	666	666	
退院人数	2	3	6	4	1	3	4	2	3	1	1	3	33	33	
看取加算人数	0	3	3	0	0	4	4	2	0	0	1	1	18	18	
日数	0	38	42	0	0	81	71	11	0	0	2	30	275	275	
介護1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1.1%
介護2	4	4	5	4	3	3	3	3	3	4	4	4	6	6	6.5%
介護3	29	31	29	28	26	27	25	26	26	25	26	27	38	38	40.9%
介護4	21	21	20	22	24	24	25	23	24	25	23	24	35	35	37.6%
介護5	11	11	11	12	13	13	14	13	11	9	9	9	13	13	14.0%
合計	65	67	65	66	66	67	68	66	65	64	63	65	93	93	
平均介護度	3.60	3.58	3.57	3.64	3.71	3.70	3.71	3.67	3.63	3.58	3.56	3.55	3.57	3.57	

利用状況集計

入退園者の状況

令和2年度

	男	女	計	前年	要支援	介護度					計
						1	2	3	4	5	
入園	在宅(ショート含む)	1	12	13	0	1	1	6	5	0	13
	うち当園ショート利用歴あり	1	7	8	6	0	0	5	3	0	8
	病院(精神科含む)	4	8	12	12	0	0	2	7	3	12
	老健	2	1	3	1	0	0	2	1	0	3
	養護老人ホーム	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1
	グループホーム	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	有料老人ホーム	0	2	2	2	0	0	2	0	0	2
	特別養護老人ホーム	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	8	23	31	33	0	1	17	14	3	31
退園	死亡	4	21	25	22	0	1	8	13	3	25
	入院	2	6	8	7	0	1	2	3	2	8
	本人・家族希望退所等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	老健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対象外(要介護2)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	6	27	33	30	0	2	10	16	5	33
	入園前の状況										
	理由										

令和2年度

ショートステイ利用状況

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		構成比	
	30日		31日		30日		31日		31日		30日		31日		30日		31日		31日		28日		31日		365日			
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数		
予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17	1	3	0	0	2	20	1.0%
介護1	5	50	6	46	8	51	10	93	1	30	6	45	7	61	5	76	9	74	5	61	5	67	7	80	15	734	36.6%	
介護2	4	28	2	26	2	25	3	35	1	2	2	30	1	6	1	4	4	4	4	4	4	4	45	3	40	261	13.0%	
介護3	5	69	1	19	1	12	0	0	0	0	0	0	3	38	2	46	4	21	2	60	2	54	4	58	14	377	18.8%	
介護4	5	75	3	47	3	43	2	33	2	60	3	61	3	40	2	32	2	33	1	30	2	30	2	9	6	493	24.6%	
介護5	2	10	1	2	2	11	2	9	0	0	2	5	2	12	2	10	2	11	2	6	2	9	2	10	2	95	4.7%	
小計(A)	21	232	13	140	16	142	17	170	4	92	13	141	16	157	12	168	21	155	12	178	16	208	18	197	48	1,980		
30日延(B)																												1.2%
合計(A)+(B)	22	233	14	141	17	143	19	172	7	95	15	143	17	158	14	170	23	157	16	182	20	212	20	199	48	2,005	100%	
平均介護度	2.76		2.31		2.31		2.00		2.75		2.46		2.50		2.58		2.24		2.25		2.31		2.41		2.41		2.41	
1日平均人数	7.7		4.5		4.7		5.5		3.0		4.7		5.0		5.6		5.0		5.8		7.5		6.4		5.4		定員8人	
利用率(%)	97.0		56.8		59.5		69.3		38.3		59.5		63.7		70.8		63.3		73.3		94.6		80.2		68.6			
送迎加算回数	46		17		46		37		0		14		38		26		31		10		29		37		331		27.6	

事務一般/介護保険実績集計/施設状況

合計実人数は期間中の人数

平均介護度は、実人数による

令和元年度年間実人数	71名
令和元年度平均介護度	2.24

令和元年度年間実人数

令和元年度平均介護度

入浴サービス利用状況

令和2年度

	利用実人数	利用延人数	1人1月当たり 入浴回数
	人	人	回
4月	1	2	2.0
5月	1	1	1.0
6月	1	2	2.0
7月	感染症対策の為 中止		
8月			
9月	1	1	1.0
10月	1	2	2.0
11月	1	1	1.0
12月	1	2	2.0
1月	1	1	1.0
2月	1	2	2.0
3月	1	1	1.0
計	1	15	1.5
令和元年度	1	20	1.7

年間給食表 状況 (令和2年度)

	給食人数		栄養摂取状況(1人1日当り)													動物たん白質 総たん白質 ×100(%)
	利用者 (初日在籍)	職員 (1日平均)	エネルギー cal	たん白質g	脂肪g	カルシウム mg	鉄mg	V. B1 mg	V. B2 mg	V. C mg	食塩相当量 g	穀類エネルギー 総エネルギー ×100(%)				
4月	62	5	1,620	62.6	45.9	664	7.6	0.97	0.98	104	8.13	59.06	53.70			
5月	63	5	1,629	63.4	47.0	663	7.6	1.08	1.12	117	8.12	58.48	53.54			
6月	62	5	1,638	63.7	46.9	641	7.6	1.08	1.07	103	8.18	58.64	54.06			
7月	62	5	1,645	62.9	47.3	652	7.3	1.13	1.14	116	8.18	58.82	53.64			
8月	62	5	1,636	62.1	46.8	685	7.6	1.06	1.03	110	8.27	59.08	52.85			
9月	65	5	1,664	64.3	49.1	638	7.7	1.06	1.06	126	8.14	58.01	53.16			
10月	65	5	1,680	64.1	47.9	609	7.4	1.03	0.95	120	8.03	59.09	54.56			
11月	64	4	1,643	64.0	46.4	598	7.6	1.02	1.16	122	7.93	59.00	53.29			
12月	65	4	1,665	64.5	48.1	595	7.4	0.98	1.22	127	7.54	58.51	54.22			
1月	62	4	1,655	64.6	47.6	686	7.4	1.26	1.23	117	7.95	58.49	53.42			
2月	64	4	1,694	66.5	49.5	753	7.8	1.37	1.47	125	7.68	58.01	55.19			
3月	61	4	1,667	65.2	46.8	711	7.3	1.31	1.32	123	7.60	59.09	53.94			
合計	757	55	19,836	767.9	569.3	7,895	90.3	13.35	13.75	1,410	95.75	704.28	645.57			
平均	63.1	4.6	1,653	64.0	47.4	658	7.5	1.11	1.15	118	7.98	58.69	53.80			
目標値			1,450	60.0	30.0	600	7.5	0.70	0.90	85	10.00	48.00	58.00			
目標値に対する比較%			114.0	106.6	158.0	109.7	100.0	158.6	127.8	138.8	79.8	122.3	92.8			

受診・入院の状況

令和2年度

	他科受診													入院		
	歯科	皮膚科	内科	外科	整形外科	泌尿器科	精神科	呼吸器内科	脳神経外科	眼科	消化器内科	婦人科	耳鼻科	人	日	
	4月	37	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	5
5月	31	2	0	2	0	4	0	0	0	0	0	1	0	1	2	松本武美 出血性膀胱炎
6月	38	1	2	3	2	3	0	0	0	0	0	1	1	5	47	摂食不良 帯状疱疹 容態急変他
7月	27	2	2	2	1	5	0	0	1	2	1	1	0	6	39	酸素不足 経口摂取困難他
8月	0	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	2	48	血尿 尿閉 全身痛
9月	19	2	1	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	17	骨折 精査 体調不良他
10月	42	3	0	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	6	81	肺炎 尿路結石他
11月	42	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	102	肺炎 血尿 摂食不良他
12月	44	1	2	2	0	3	1	0	0	0	0	0	0	2	31	脳出血(入院先で死亡)他
1月	39	4	2	2	0	3	1	0	0	0	1	1	0	8	101	骨折 嘔吐 血尿 摂食不良他
2月	41	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	5	93	骨折 摂食不良他
3月	40	0	3	4	0	2	1	0	0	0	0	0	0	4	28	3人退院困難の為退所
計	400	19	14	24	5	31	6	1	1	2	3	5	2	20	594	←入退院日を含まない
実人数	66	10	10	13	5	7	1	1	1	2	3	2	2	/	/	
R1年度	60	5	7	8	4	3	1	3	2	1	2	1	1	10	/	

別表6



面会状況

令和2年度

	延べ人数(人)
4月	0
5月	3
6月	113
7月	67
8月	15
9月	54
10月	126
11月	117
12月	64
1月	51
2月	116
3月	122
計	848
令和元年度	4,474

ボランティアの来園状況

令和2年度

ボランティア名		来園回数	延人数
団 体	天理教婦人会	11	35
	四つ葉会	10	37
	すみれの会	10	26
	SDG	10	40
	千代乃会	32	113
	日の出会	5	15
	寿美令会	16	56
	ひまわり会	4	18
	若山会	9	30
	中電工(清掃)	1	10
	民生委員(ガラス拭き)	4	35
	理容組合(利用者理髪)	11	—
	金光教(草取り)	1月1日	25
	美栄の会(健康体操)	0	0
個人	荒木氏 中里氏	9	10
合 計		133	450
令和元年度		338	1,351

施設内研修(現任)の実施状況

令和2年度

実施日	テーマ	講師	参加職種					参加人数
			介護	看護	相談	給食	事務	
4月	全体会議(今年度の事業計画について)	園長主任者会	●	●	●	●	●	書類研修
5月	食中毒	感染症対策委員会	●	●	●	●	●	書類研修 50名
6月	接遇(接遇、倫理綱領について)	主任者会	●	●	●	●	●	書類研修
7月 16日	褥瘡の基礎知識と予防ケア(ポジショニングを理解しよう)	褥瘡委員会	●	●				37
8月 28日	転倒・転落アセスメントシートの導入および取り扱いについて	事故防止委員会	●	●	●			21
9月 17・24日	ノロ・インフルエンザ 初期対応	感染管理認定看護師 梅野伊都美	●	●	●			40
10月 15日	清潔・不潔を踏まえての排泄介助	排泄委員	●	●				28
11月 19日	身体拘束廃止と高齢者虐待防止に向けて 認知症ケア	廣瀬春美	●	●	●			25
12月 17・21・22日	医療的ケア 看護業務 看取りケアの振り返り	看取り委員会 看護師	●	●	●			33
1月	認知症の基礎知識とコミュニケーション	認知症ケア委員会	●	●	●			書類研修
2月	アセスメントシートについて 離床ベッドおよび離床コールの使用方法	事故防止委員会	●	●	●			書類研修
3月 18日	ユニット発表会	ユニットメンバー	●	●	●	●	●	39

新入職員研修の実施状況

令和2年度

内容	職種	時期	回数	担当
職務心得・虐待他	全職種	採用直後	6	園長
採用に関わる書類等	全職種	採用直後	6	事務長
接遇	全職種	採用直後	4	担当部署リーダー(主任)
感染症予防対策	全職種	採用直後	4	感染症予防委員会リーダー
事故防止対策	全職種	採用直後	4	事故・拘束対策委員会リーダー
介護業務	全職種	採用直後	4	介護主任
褥瘡について	全職種	採用直後	3	褥瘡委員会リーダー
ケアプラン	介護・看護	夜勤業務が1人のできるようになった後	1	介護支援専門員
介護業務(移動)	介護	OJTにて、実施		総リーダー、ユニットリーダー
介護業務(食事)	介護			総リーダー、ユニットリーダー
介護業務(入浴・整容)	介護			総リーダー、ユニットリーダー
介護業務(排泄)	介護			総リーダー、ユニットリーダー
介護業務(記録)	介護			総リーダー、ユニットリーダー
看護業務・死生観	全職種	採用直後	4	看護主任
給食業務 (給食:食種やトロミ剤、自助具について)	全職種	採用直後	4	給食主任

* 令和2年度中の新規採用実人数:6人(介護:4 相談:1 給食:1)

職員会議の実施状況

令和2年度

会議の名称	回数	参加者	協議内容
主任者会	12	介護主任、看護主任、給食主任、主任生活相談員、事務主任	園内研修計画及び、進捗状況について 各パート報告 園の運営について 園内研修、行事、苦情等について
介護リーダー会	11	介護職主任、ユニットリーダー	園内研修について 業務内容、時間の見直し 緊急時フローチャートの見直し リーダー研修(ピア)
給食会議	3	栄養士、調理員	マニュアルの見直し 業務の見直し、行事の反省
ナース会議	2	看護主任、看護職、PT	事業計画の見直し、今後の展開と次年度課題・計画、次年度の担当について
あすなる ユニット会議	7	あすなる介護職、 看護職、相談員	ユニットケア全般業務連絡、業務見直し、 意見交換、 園内研修
ひだまり ユニット会議	8	ひだまり介護職、 看護職、相談員	
さくらユニット会議	6	さくら介護職、 看護職、相談員	
ヘルパー会議	0	介護主任 ヘルパー介護職	業務への気づき、提案について
ケアカンファレンス	27	担当介護職、担当看護職、介護職主任、栄養士、生活相談員、機能訓練指導員、介護支援専門員	ケアプランの策定、見直し のべ167人検討
計	76		

委員会の活動状況

令和2年度

委員会の名称	会議回数 (回)	活 動 内 容
ショート委員会	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の確認 ・物品整理、管理場所の把握
排泄委員会	9	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄物品の見直し(コスト削減について) ・排泄マニュアルの見直し ・園内研修の準備 ・アンケートの集計、検討
認知症ケア委員会	0	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアについての研修企画・実施 ・アンケートの集計、検討 ※介護リーダー会にて、上記について話し合う
看取り委員会	12	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り気づきシートによる、利用者の状態把握 ・面会制限下での看取りについて ・看取りケアを行った利用者についての評価
事故防止委員会	13	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、ヒヤリハットの集計、対策・協議(月1回の集計データ収集・分析) ・職員の事故防止に対する意識啓発、園内研修、記録紙の見直し ・園内研修の準備 ・マニュアルの見直し、修正 ・転倒、転落アセスメントシートの作成、見直し
褥瘡対策 防止委員会	11	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防及び、発生時に向けた対策の検討 ・園内研修の準備 ・褥瘡予防のための、体位変更の確認、栄養状態の確認 ・褥瘡予防物品の整理整頓、管理(使用状況の把握など) ・褥瘡発症者、要注意者の状態把握、評価、予防に向けての取り組み
感染症委員会	12	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時の感染予防、感染予防基本動作の徹底、行動マニュアルのデモ ・マニュアルの見直し、修正 ・感染症流行期間の内外に対する注意喚起(張り紙、園内放送) ・園内研修の準備 ・ノロウイルス初期対応マニュアルの見直し、検討
業務改善プロジェクト	5	課題の洗い出し
		記録の見直し(共通語を探し出す)
		夜勤業務についての検討

年齢別状況

令和2年度

	男		女		計	
	R1年度末	R2年度末	R1年度末	R2年度末	R1年度末	R2年度末
～64	1	1	0	0	1	1
65 ～ 69	0	2	1	1	1	3
70 ～ 74	0	0	3	2	3	2
75 ～ 79	3	4	5	5	8	9
80 ～ 84	2	3	8	10	10	13
85 ～ 89	3	2	14	9	17	11
90 ～ 94	1	1	9	13	10	14
95 ～	0	0	12	9	12	9
計	10	13	52	49	62	62
最低年齢	46	47	66	67		
最高年齢	93	88	101	100		
平均年齢	79.2	77.4	87.5	87.9	86.3	85.8

在園期間の状況

令和2年度

*年度末の人数で計算

	男		女		計	
	R元年度	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度	R2年度
1年未満	5 ^人	7 ^人	23 ^人	19 ^人	28 ^人	26 ^人
1年以上2年未満	2	3	6	14	8 ^人	17
2年以上3年未満	1	0	5	4	6 ^人	4
3年以上5年未満	2	1	7	4	9 ^人	5
5年以上10年未満	0	2	7	3	7 ^人	5
10年以上	0	0	4	8	4	8
計	10	13	52	52	62	65
平均在園期間	1年5か月	1年8か月	3年1か月	3年7か月	2年10か月	3年4か月

認知症の状況

(認知症高齢者の日常生活自立度判定基準による)

令和2年度末 (人)

ランク		男	女	計
自立	認知症はない	0	0	0
I	認知症はあるがほぼ自立	0	0	0
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動意思疎通の困難さが多少あり誰かの注意を必要とする	7	18	25
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動意思疎通の困難さがあり介助を必要とする	3	29	32
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動意思疎通の困難さが頻繁にあり常に介助を必要とする	2	2	4
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ専門医療を必要とする	0	0	0
合 計		12	49	61

日常生活動作の状況

令和2年度

			人数(人)			
			令和2年度末(61名)	令和元年度末(62名)		
歩行	可	独歩～補助器使用		4	2	
		一部介助		2	—	
	不可	車いす	自力可		11	12
			一部介助		1	—
全面介助			43	26		
食事	状態	自分で可能		22	38	
		一部介助		22	5	
		全面介助		17	19	
入浴	個浴	浴槽をまたぐ		6	1	
		リフト使用		24	17	
	特浴		31	32		
排泄	トイレ (日中のみの利用者舎)	自分で可能		5	昼3 夜3	
		介助		20	昼2 夜6	
	終日オムツ使用		36	昼34 夜41		

令和 2 年度 デイサービス施設明寿香園事業報告書



令和 2 年度 デイサービス施設明寿香園事業報告書

令和 2 年度は、認知症の症状が目立つ利用者や日常生活動作に見守りや介助が必要な利用者の新規受入れが多かった。認知症予防の脳トレや機能訓練を実施し、アクティビティや行事では、他者と交流が図れるよう配慮した。

また、個々に応じた身心機能の維持向上訓練や、日常生活機能訓練に力を入れ、在宅生活が継続できるように支援した。

明寿香園パンフレットの作成と、あすかだよりの配布を開始した。園での様子を知ってもらうツールとなった。

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、検温、手洗い、うがい、消毒、換気等を適宜行い、通常どおりの受け入れを行った。空気清浄機、加湿器、テーブルを補助金で購入し、感染予防の環境を整えた。

総合支援事業の生活維持型については、令和 2 年 12 月末をもって、事業を終了した。生活維持型の利用者は、当園の予防給付型に全対象者が移行した。

重点目標の 1 点目「新規利用者の受け入れを積極的に行う」は、事前訪問を行い、体験利用をしてもらった。一日過ごしてもらい、「また来たい」と思ってもらえるように支援したが、新規人数は昨年より少なかった。

2 点目「在宅生活を継続できるように、訓練の充実を図る」については、3 ヶ月毎に居宅訪問を行い、プランの作成、訓練の実施、評価を行った。家族の希望等も把握し、訓練を継続した。デイサービスを利用することで、生活機能を維持し、在宅生活を継続出来るように支援した。

3 点目「職員間の連携を深め、より良いサービスを提供する」については、報告・連絡・相談を意識して行い、チームケアに取り組んだ。園内研修については、担当を決め、職員が講師を務めた。各自のスキルアップにも繋がっている。外部研修については、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となり、参加することができなかった。

1 施設の概要

名 称	デイサービス施設 明寿香園 通所介護(通常規模型)・総合支援事業(予防給付型) 定員 30 人 【通所介護】 入浴、個別機能訓練Ⅰ・Ⅱ、 サービス提供体制加算、処遇改善加算、 特定処遇改善加算、有 【総合支援事業(予防給付型)】 運動機能向上加算、 サービス提供体制加算、処遇改善加算、 特定処遇改善加算、有
-----	--

	【総合支援事業(生活維持型)】 令和2年12月31日まで 定員5人 サービス提供体制加算、処遇改善加算、 特定処遇改善加算、有
住 所	山陽小野田市大字小野田11324番地10
事業開始	昭和59年12月 1日
建 物	鉄筋コンクリート平屋建 508.2㎡ 食堂 訓練室 休養室 浴室(リフト浴・一般浴)

2 サービス提供体制（職員配置）

常勤介護職員が、令和2年11月に1人、産休・育休となった。
非常勤看護兼機能訓練指導員が1人、令和2年12月31日で退職した。

令和2年度末職員人数（人）

管理者	1（施設管理者等兼務）
生活相談員	2（介護職員兼務1）
介護職員 通所介護・予防給付型	6（相談員兼務1、産休・育休1） （機能訓練指導員・看護職員兼務1）
看護職員	2（機能訓練指導員兼務1、内パート1） （機能訓練指導員・介護職員兼務1）
機能訓練指導員	3（看護職員兼務1、内パート1） （看護職員・介護職員兼務1）
事務員	1
	計 11（デイ専従10、内パート1）

3 サービスの実施状況

（1）利用実績

開園は304日（前年度305日）となった。

利用述べ人数は、6,430人（前年度6,424人）1日平均21.1人（前年21.0人）、利用率は60.4%（前年度60.1%）となり、平均介護度は、1.26（前年度1.33）であった。一日当たりの利用者数は、わずかに増えた。

新規利用者が17人（前年度24人）、利用中止者は21人（前年度25人）、実利用人数は、87人（前年度90人）となった。

利用中止の理由は、入院2人、施設入所9人、自宅療養8人、死亡0人、他デイ事業所利用2人であった。

介護度別の実利用者割合

令和2年度末現在

事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4.6% (2.2)	9.2% (8.9)	19.5% (17.8)	46.0% (47.8)	11.5% (11.1)	9.2% (10.0)	0% (2.2)	0% (0.0)

※ () 前年度

別表1 デイサービス利用状況

(2) サービス内容

① 通所介護計画について

居宅サービス計画書に沿って、アセスメントで得られた情報より課題抽出を行い、本人、家族が望む生活に向けての目標設定・計画作成に努めた。

また、利用者・家族への丁寧な説明に心掛けた。定期的に、目標達成状況の把握し、再アセスメント、介護計画書の再作成を行った。必要時には、ケアマネージャーへの報告を行い、サービス内容や居宅サービス計画の見直しの働きかけを行った。

② 送迎について

利用者の心身状態や道路状況を配慮し、車種選択し、安全で円滑な送迎に努めた。

デイ所有の車両のみでの送迎が困難なため、他部署の車両を使用することが頻繁にあった。そのために、車両使用については、その都度調整を行った。リフト車と軽ワゴン車については、老朽化のため廃車とし、新たに普通車を1台リースした。

認知症等により、身支度が困難なケースも増え、起床の手伝い、着替えの支援、複数回の迎え、通常を送迎時間を遅らせる等の対応を行った。

地域別利用状況

令和2年度末現在 (人)

本山	赤崎	須恵	小野田	高千帆	高泊	有帆	宇部	計
7	2	32	31	10	2	0	3	87

③ 健康状態の確認・管理

来園時と午後の2回、バイタル測定（血圧・脈・体温）と体調確認を行った。また、パルスオキシメーターにて、SPO2（経皮的動脈酸素飽和度）を測定するケースが増えた。利用中に、安静に過ごす時間を必要とする利用者が増え、ベッドが足りないことがあった。時間を決め交替する等、利用者に協力を得て対応した。

体調が不安定な利用者が増えたことや、服薬管理が出来ていない等により、家族・ケアマネージャー・主治医・薬剤師等に連絡するケースも増えた。

夏季は、脱水症状を起こさないように、小まめに水分摂取を促し、熱中症の注意喚起をした。訓練の前後、入浴後は、適宜水分補給に努めた。

風邪やインフルエンザ、コロナウイルス等の感染症対策として、マスクの着用や手洗いやうがいの励行に努め、体調不良時は、早めの受診をすすめた。また、室内の換気等の予防対策の徹底を行った。また、空気清浄機や加湿器の使用を行った。

④ 入浴について

利用者の健康状態を把握し、身体状態に合わせた介助方法と、設備を選択してサービス提供を行った。また、看護職と連携し、利用者の皮膚状態の確認を行い、必要に応じて受診を勧めた。

体調不良等により入浴が出来ない利用者については、部分浴（手指・足）・シャワー浴・陰部洗浄・清拭等の代替対応にて、身体の清潔保持に努めた。

座位保持・立位保持が困難な利用者には、リフト浴を使用し、安全に十分配慮して実施している。

主治医や訪問看護事業所の指示により、入浴後に処置を行うことが増えた。

⑤ 食事について

調理職員の協力を得て、可能な限り嗜好についての配慮を行った。

自立支援に配慮し、食事形態の選択と自助具を用意する等の対応を行った。介助にあたる際は、利用者の食事ペースに配慮し、声かけや雰囲気づくりにも努めた。

⑥ 排泄について

清潔な環境づくりのため、随時点検や掃除を行った。

介助においては、利用者の自尊心に配慮しながら、心身の状態に応じたケアに努めた。トイレでの排泄が出来るように、声かけ・トイレへの誘導方法や介助方法を検討し実施した。

ベッド上での排泄介助についてはパーテーションを使用し、プライバシーの保護に配慮して行った。

必要な利用者には、排尿・排便の有無・尿量・便の状態等を把握し、家族、他サービス事業所と連絡を密にし、排泄コントロールを行った。

⑦ 機能訓練について

機能訓練指導員を中心に、全職員で協力をし、3ヶ月毎に自宅訪問し、アセスメントを行った。機能訓練指導員が作成した「個別機能訓練計画書（運動器機能向上訓練計画書）」に沿って機能訓練の実施を行った。

機能訓練実施には、目的別に少人数のグループで対応を行った。また、マンツーマン対応が必要な利用者と予防給付型の利用者の機能訓練については、機能訓練指導員が対応した。

評価については、3ヶ月毎に測定と他職種の意見を聞きながら、機能訓練指導員が行った。定期的に効果測定（10m歩行、握力、片足立ち、前屈等）を行うことにより、利用者の意欲向上に繋がった。

⑧ アクティビティ・行事について

毎日レク担当者が、計画的に利用者間の交流と脳の活性化を目的に、レクリエーションを実施した。

個別の活動については、脳トレやクロスワード、塗り絵等、意欲的に取り組む利用者が多かった。

行事活動については、4月お花見、7月七夕飾り、8月明寿香祭り、10月運動会、12月忘年会、2月節分・豆まきの6回を実施した。実施日数に限りがあるため、利用日でない利用者には、アクティビティの時間を使って作品作り等、個別の対応で参加してもらった。多くの利用者に参加してもらうことができた。

別表2 行事实施状況

⑨ 口腔ケアについて

来園時に、うがいを行うことにより、口腔内の清潔と感染症予防に心掛けた。昼食前に、口腔体操を行い、口やその周辺の運動機能や、飲み込みの機能が改善できるように働きかけた。また、食後には、うがいや歯磨きを勧めるとともに、必要な利用者には、義歯洗浄等の介助を行うことで、口腔内の清潔保持に努めた。治療が必要な利用者には受診を勧め、治療に繋げた。

⑩ 認知症ケアについて

前年度に比べ、日常生活に支障をきたす症状がある利用者が多かった。毎日のミーティングや職員会議で情報共有に努め、支援を行った。

⑪ 家族介護者への支援について

連絡帳の活用、電話連絡、送迎時の家族との会話やコミュニケーションを密に行い、家族介護者の相談や助言を行った。特に、送迎時の家族介護者の健康状態に留意し、必要時にはケアマネージャーや関係機関に報告を行うことで、協働して家族支援ができるように努めた。

(3) 利用者の状況

別表 3-1 利用者歩行・移動の状況

別表 3-2 認知症利用者の状況

別表 3-3 年齢別利用者状況

4 広報活動について

明寿香園パンフレットとあすかだよりを作成した。あすかだよりは、毎月発行し、利用者や居宅事業所に配布した。体験利用の方には、事前訪問時パンフレットを使用し園の説明を行った。写真付きで、園の様子を分かりやすく伝えることができた。

5 地域とのネットワークづくりについて

今年度は、コロナウイルス感染症予防のため、市の要請もあり、ボランティアと実習生の受け入れを中止した。

6 安全快適な環境づくりについて

①通常の業務の中で、手洗い・消毒・感染予防対策を徹底した。

②床磨き、ゴキブリ駆除などを、外部業者に依頼し実施した。

③ヒヤリハットについては、ミーティングで検討し、職員の事故防止への意識を高め、再発防止に努めた。医療機関受診等の事故（転倒 1 件）は、1 件であった。車両事故は、1 件(物損事故)あった。苦情は、0 件だった。

7 職員資質向上と人材育成について

外部研修は、コロナウイルス感染症予防のため、研修が中止になることが多く、1 件のみの参加となった。内部研修については担当者を決め、講師を行うことで、各自のスキルアップに繋げた。

別表 4 職員の研修状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
	定員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
開園日数	26	24	26	27	25	25	27	25	25	23	24	27	304	
延介護 1	344	331	377	384	393	418	414	400	398	318	331	364	4,472	82.6%
延介護 2	58	35	24	46	65	72	72	63	79	50	88	96	748	13.8%
延介護 3	34	22	22	17	14	12	12	10	10	25	9	9	196	3.6%
延介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
延介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
計 (A)	436	388	423	447	472	502	498	473	487	393	428	469	5,416	100.0%
平均利用者数/日	16.7	16.1	16.2	16.5	18.8	20.0	18.4	18.9	19.4	17.0	17.8	17.3	17.8	
利用率 (%)	55.8	53.8	54.2	55.1	62.9	66.9	61.4	63.0	64.9	56.9	59.4	57.9	59.3	
個別機能訓練加算 I	349	303	346	362	397	425	433	410	372	324	371	430	4,522	83.5%
個別機能訓練加算 II	264	240	238	255	291	325	336	318	329	269	313	358	3,536	65.3%
入浴介助加算	311	278	300	329	358	378	366	350	374	309	336	349	4,038	74.6%
意迎減算	20	8	24	47	43	46	48	43	53	38	34	67	471	8.7%
サービス提供体制加算 I1	436	388	420	444	472	502	495	473	487	395	428	468	5,408	99.9%
処遇改善加算 I	40	38	35	39	39	43	42	40	40	39	39	36	470	8.7%
特定処遇改善加算 I	40	38	35	39	39	43	42	40	40	39	39	36	470	8.7%
実介護 1	29	29	29	32	31	35	36	34	33	31	29	27	31	
実介護 2	6	5	2	4	6	6	5	5	6	5	8	7	5	
実介護 3	5	4	4	3	2	2	1	1	1	2	2	2	2	
実介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
実介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	40	38	35	39	39	43	42	40	40	38	39	36	39	実人数
平均介護度														1.26
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	4	13	1.9%
要支援 1	0	0	5	5	10	10	14	11	11	12	14	17	109	16.3%
要支援 2	35	31	37	52	44	53	54	45	47	47	45	55	545	81.7%
計 (B)	35	31	42	57	54	63	68	56	58	65	62	76	667	100.0%
平均利用者数/日	1.3	1.2	1.6	2.1	2.1	2.5	2.5	2.2	2.3	2.8	2.5	2.8	2.1	
利用率 (%)	4.4	4.3	5.3	7.0	7.2	8.4	8.3	7.4	7.7	9.4	8.6	9.3	7.3	
運動器機能向上加算	5	4	6	8	9	9	10	10	10	12	11	11	105	15.7%
運動器機能向上加算 2/1	1	1	0	1	1	2	2	2	3	3	2	2	20	3.0%
サービス提供体制加算 I1	0	5	1	2	3	3	4	4	4	5	5	5	41	6.1%
サービス提供体制加算 I2	5	4	5	6	6	6	6	6	6	8	6	6	70	10.5%
サービス提供体制加算 I2/1	1	1	0	1	1	2	2	2	3	3	2	2	20	3.0%
処遇改善加算 I	6	5	6	9	10	11	12	12	13	16	13	13	126	18.9%
特定処遇改善加算 I	6	5	6	9	10	11	12	12	13	16	13	13	126	18.9%
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	
実介護 1	0	0	1	2	3	3	4	4	4	3	4	4	3	
実介護 2	6	5	5	7	7	8	8	8	9	11	8	8	8	
計	6	5	6	9	10	11	12	12	13	16	13	13	11	実人数
【 I 】 合計延人数(A)+(B)	471	419	465	504	526	565	566	529	545	458	490	545	6,083	
合計平均利用者数/日	18.1	17.4	17.8	18.6	21.0	22.6	20.9	21.1	21.8	19.9	20.4	20.1	20.0	
合計利用率 (%)	60.3	58.1	59.6	62.2	70.1	75.3	69.8	70.5	72.6	66.3	68.0	67.2	66.6	利用状況集計

別表 1-2

生活維持型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
定員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0	0	0	5	
開園日数	26	24	26	27	25	25	27	25	25	0	0	0	230	
延事業対象者	8	7	6	6	5	3	3	1	9	0	0	0	48	13.8%
要支援 1	9	7	9	9	8	7	9	9	7	0	0	0	74	21.3%
要支援 2	34	31	31	32	21	21	21	19	15	0	0	0	225	64.8%
人数	51	45	46	47	34	31	33	29	31	0	0	0	347	100.0%
平均利用者数/日	1.9	1.8	1.7	1.7	1.3	1.2	1.2	1.1	1.2	0.0	0.0	0.0	1.5	
利用率 (%)	39.2	37.5	35.3	34.8	27.2	24.8	24.4	23.2	24.8	0.0	0.0	0.0	30.1	
サービス提供体制加算 I 1	4	4	4	4	4	4	3	3	4	0	0	0	33	9.5%
サービス提供体制加算 I 2/1	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	13	3.7%
サービス提供体制加算 I 2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	0	0	0	22	6.3%
処遇改善加算 I	9	9	9	9	8	6	6	6	6	0	0	0	68	19.6%
特定処遇改善加算 I	9	9	9	9	8	6	6	6	6	0	0	0	68	19.6%
実	2	2	2	2	2	1	1	1	2	0	0	0	1	
事業対象者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	2	
要支援 1	5	5	5	5	4	3	3	3	2	0	0	0	3	
要支援 2	9	9	9	9	8	6	6	6	6	0	0	0	6	
人数	9	9	9	9	8	6	6	6	6	0	0	0	6	実人数

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
開園日数	26	24	26	27	25	25	27	25	25	23	24	27	304
合計延人数【1】+【2】	522	464	511	551	560	596	599	558	576	458	490	545	6,430
合計平均利用者数/日	20.0	19.3	19.6	20.4	22.4	23.8	22.1	22.3	23.0	19.9	20.4	20.1	21.1
合計利用率 (%)	57.3	55.2	56.1	58.3	64.0	68.1	63.3	63.7	65.8	56.8	58.3	57.6	60.4

行事実施状況

令和2年度
(人)

月	行事名	実施日数	場所	参加延べ人数	その他	ボランティア
4	お花見	7	食堂 デイルーム、 長寿園中庭	53	0	0
7	七夕飾り	4~7月	食堂 デイルーム	全員	—	—
8	明寿香祭り	3	食堂 デイルーム	67	0	0
10	運動会	3	食堂 デイルーム	68	0	0
12	忘年会	3	食堂 デイルーム	75	0	0
R3/2	節分・豆まき	3	食堂 デイルーム	57	0	0

別表3-1

利用者歩行・移動の状況

(人)

自助具種類	令和2年度		令和元年度	
	自立	介助	自立	介助
なし	27	1	29	3
杖	22	1	19	4
歩行器	20	9	19	11
車椅子	1	6	0	5
計	70	17	67	23
合計	87		90	

認知症利用者の状況

(人)

ランク		2年度	元年度
自立	認知症なし	22	20
I	認知症はあるがほぼ自立	24	13
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが多少あり誰かの注意が必要とする	2	5
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが時々あり介助を必要とする	30	40
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動・意思疎通の困難さが頻繁にあり介助を必要とする	9	12
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ専門医療が必要である	0	0
合 計		87	90

年齢別利用者状況

令和2年度
(人)

年齢別区分	男性	女性	計
～69	0	0	0
70～74	0	4	4
75～79	3	3	6
80～84	3	16	19
85～89	3	23	26
90～94	1	16	17
95～99	0	13	13
100～	0	2	2
計	10	77	87
平均年齢	83.5	87.7	87.3
最高年齢	92	104	104

職員の研修状況

令和2年度
(人)

(外部)

研修会名	期間	場所	参加者
令和2年度通所介護事業所担当者講習会	平成元年12月17日	高千帆福祉会館 (山陽小野田市)	主任生活 相談員 1

(内部)

(人)

研修内容	期間	場所	参加者
倫理及び法令遵守に関する研修	令和2年5月28日	明寿香園 食堂	10
接遇に関する研修	令和2年6月25日	明寿香園 食堂	10
非常災害時の対応に関する研修	令和2年7月30日	明寿香園 食堂	11
接遇に関する研修	令和2年8月27日	明寿香園 食堂	10
認知症及び認知症ケアに関する研修	令和2年9月24日	明寿香園 食堂	11
感染症・食中毒に予防蔓延防止に関する研修	令和2年10月22日	明寿香園 食堂	9
プライバシーの保護に関する研修	令和2年12月24日	明寿香園 食堂	9
身体拘束の排除に関する研修	令和2年2月25日	明寿香園 食堂	9
高齢者虐待防止に関する研修	令和2年3月25日	明寿香園 食堂	9



令和2年度 長寿園居宅介護支援事業報告書



令和 2 年度 長寿園居宅介護支援事業報告書

令和 2 年度も、特定事業所加算については、義務付けられた要件をクリアしながら継続して算定しており、当事業所の基本方針に沿って業務を遂行した。

コロナ禍の状況により、上半期は研修が中止なる事もあったが、下半期は研修や会議がリモートで行われることが主流となってきた。当事業所でも、情報通信機器が活用できる環境が整備され、その後はリモート研修等にも積極的に参加し、自己研鑽に努めた。

居宅支援の業務については、認知症による問題行動の状態把握・対応、老老介護世帯の支援、困難事例の受け入れ、終末期の支援等、その支援内容は多岐に渡るが、関係者間での連携や、適切なサービスの調整に努め、利用者やその家族が望む在宅生活が、その人らしく送れるように対応した。

1 事業所の概要

名 称	長寿園居宅介護支援事業所
住 所	山陽小野田市大字小野田 11324 番地 10
事業開始日	平成 12 年 4 月 1 日

2 サービス提供体制

居宅管理者	1 人 (主任介護支援専門員兼務)
主任介護支援専門員	1 人
介護支援専門員	2 人

3 サービスの実施状況

	令和 2 年度		令和元年度	
	件数	内訳	件数	内訳
居宅サービス計画の作成	1.391	居宅 1.182	1.348	居宅 1.141
		予防 209		予防 207
要介護認定調査	3	在宅 3	65	在宅 51
		施設 0		施設 14

居宅サービス計画の作成件数は、前年度より 41 件増加し、月平均件数では、99 件と当事業所が目標に挙げた担当件数 (介護支援専門員 3 人で 95 件) に達している。

介護予防サービス計画の作成に関しては、前年度より2件増加したが、月平均件数は17件であり、目標に挙げた担当件数（月平均18件）に達しなかった。今後も、各ケアマネの経験年数や業務の実情等を配慮しながら、積極的に受け入れを行っていく。

認定調査の件数については、コロナ禍の状況により、認定期間を1年延長する措置が取られ、市からの調査委託がほぼ無かった。

令和2年度実績は、3件で、全体数では48件の大幅減となっている。施設（長寿園）においては、現在、調査委託できる介護支援専門員が不在なため、認定調査を実施していない。

別表1 居宅サービス計画・介護予防サービス計画作成実績表

4 会議等への出席

地域ケア会議・事例検討会	6回
ケアマネジャー連絡会議	12回
地域包括支援センター運営協議会	2回（1回は書面開催）
在宅医療・介護連携推進研修会	1回（リモート会議）

5 事業所内会議の開催

居宅会議	12回
定例会議	35回

6 研修会参加状況

研修名	年月日	場所	参加者
福祉用具・住宅改修研修	令和2年 7/16.17	山口県セミナーパーク	1人
研究の進め方研修	令和2年 7/23	山口県セミナーパーク	1人
主任介護支援専門員要件研修	令和2年 9/14 9/26 10/17 10/24	山口県セミナーパーク	1人

公開講座『傾聴のスキルと実践について』	令和2年 11/6	山陽小野田市民館 文化ホール	1人
地域包括ケアシステム推進研修(2021年介護報酬改定の最新動向と4月1日施行までの早期準備のために)	令和3年 2/5	長寿園会議室 (オンライン研修会)	3人

別表 1

令和2年度 居宅介護計画書作成実績

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	比率
	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅	作成件数 当月	作成件数 月遅		
介護 1	53	1	52		55		56	1	56		60		62		56		53		55		51	1	50	1	663	56.1%
介護 2	23		23		20		22		21		22		21		19		21		21	1	25		24		263	22.3%
介護 3	13		12		12		11		9		11		11		10		10	1	11		10		11		132	11.2%
介護 4	9	1	9	1	9	1	8		9	1	9		9		9	1	8		10		9		7		109	9.2%
介護 5	2		2		2		1		0		1		1		1		1		1		1		2		15	1.3%
小計(A)	100	2	98	0	98	1	98	1	95	1	103	0	104	0	95	1	93	1	98	1	96	1	94	1	1,182	月平均 99
支援 1	4		4		4		4		4		2		2		2		2		2		2		2		34	16.3%
支援 2	14		13		15		15		15		14		15		15		15	1	12		12		12		168	80.4%
事業対象者	1		1		1		1		1		1		1		0		0		0		0		0		7	3.3%
予防介護	19	0	18	0	20	0	20	0	20	0	17	0	18	0	17	0	17	1	14	0	14	0	14	0	209	月平均 17
小計(B)																										
合計(A+B)	121		116		119		119		116		120		122		113		113		112		113		109		1,391	116

令和2年度 おのだ在宅介護支援センター事業報告書

(山陽小野田市地域包括支援センター サブセンター)



令和2年度 おのだ在宅介護支援センター事業報告書
 (山陽小野田市地域包括支援センター サブセンター)

おのだ在宅介護支援センターは、山陽小野田市地域包括支援センターサブセンターとして、須恵校区・小野田校区を担当し、業務にあたっている。市の事業計画に添って、介護予防・日常生活支援、一般介護予防事業、総合相談支援の業務を行った。

新型コロナウイルス感染拡大の時期には、訪問や会議の自粛期間があり、調整や確認などは可能な範囲を電話で対応したが、認知症高齢者の対応やサービス利用相談等で面会が必要時もあった。

重点目標にあげた「課題を抱える高齢者等の生活を支えるために、居宅介護支援事業所と連携し、環境及び資源を把握して、生活支援・介護予防に繋げる関わりに努める」については、高齢者の生活状況や意向を把握し、介護予防に向けた生活支援を行った。

担当地区の民生福祉委員、関係機関等との連携は、会議に参加し連絡に努め、高齢者や障害者の生活支援に協働して関わった。

相談業務に必要な研修を受講し、地域包括支援センターが開催する会議・研修への参加で、資質向上に務めた。

1 施設の概要

名 称	おのだ在宅介護支援センター		
住 所	山陽小野田市大字小野田11324番地10		
事業開始日	平成3年1月1日 サブセンター委託事業開始平成18年4月1日		
建 物	鉄筋コンクリート造平家建	8.68㎡	相談室 1
事 務 室	特別養護老人ホーム長寿園内	在宅支援室	

2 サービス提供体制（職員配置）

センター長(長寿園園長兼務)
 介護支援専門員 1人（山陽小野田市地域包括支援センター在籍出向職員）

3 サービスの実施状況

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

① 介護予防支援事業 要支援1・2、事業対象者

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実人数
プラン作成件数	2	7	2	4	3	4	3	3	2	2	0	2	34	57人
給付管理件数	41	40	41	46	43	41	44	42	42	39	38	37	494	
										H31年度 (R1年度)	プラン件数	56	61人	
											給付管理数	530		

令和2年度に担当した介護予防支援事業給付管理数は、494件で、月平均41.2件（前年度44.2件）であった。

サービス利用した実人数は57人（前年度61人）であり、介護予防サービス支援計画作成件数は34件（前年度56件）となった。要支援認定の有効期間が3年間の方もおり、計画作成数が減少した。

新規に担当した人数は17人、担当を終了した人数は19人。終了の理由は介護給付への移行7人、入院入所4人、転出1人、サービス利用中止は2人、他転居、死去であった。

利用したサービス内容は、訪問介護のみ6人、通所介護・通所リハのみ26人、福祉用具貸与のみ7人。福祉用具と訪問リハビリ、通所介護と短期入所など、複数のサービスを合わせて利用した人数は18人であった。

調整に関わったサービス提供事業所は、訪問介護8ヶ所、通所介護14ヶ所、通所リハ3ヶ所、福祉用具6ヶ所、訪問リハ1ヶ所、短期入所1ヶ所、訪問入浴1ヶ所であった。

② 一般介護予防事業

地域で、継続して介護予防が取り組める「住民運営通いの場 いきいき百歳体操」では、感染予防の為に自粛期間後に、三蜜とならない会場設定、手洗いとマスク使用を呼び掛け、再開支援を行った。

(2) 包括的支援事業

① 総合相談支援事業

相談内容は、認知症高齢者の親族からの介護保険制度やサービス利用に関してのものが多く、施設入所、配食サービス、認定申請についても対応を行った。

実態把握の件数

R2年度	1期	2期	3期	4期	合計
実態把握 件数	127件	119件	141件	152件	539件
				R元年度	553件

② 権利擁護業務

認知症等により、金銭管理、生活上の適切な判断やサービスの選択等が困難な高齢者や家族に、地域包括支援センターや他関係機関と連携を取り、支援活動した。

4 会議出席

地域包括支援センター連絡会	9回
地域ケア会議事例検討会	1回
山陽小野田市民生児童委員会(第2区)	8回
長寿園居宅支援事業所居宅会議	12回

5 研修の状況

研修名	年月日	場所
県地域包括・在宅介護支援センター協議会	R2. 10. 20 ~10. 21	県社会福祉会館
R2年度 公開講座 「傾聴のスキルと実践について」	R2. 11. 6	山陽小野田市民会館
山口県マネジメント研究大会 「実践に生きるスーパー ビジョンの在り方」	R2. 12. 5	リモート研修
スーパーバイザー研修 山陽小野田市地域包括 支援センター	R2. 7. 17 R2. 9. 18 R2. 10. 14 R3. 3. 19	山陽小野田市役所
令和2年度 在宅医療・介護連携推進研修会	R3. 2. 18	リモート研修